

[025]九州大学ビジネス・スクールニューズレター

<https://hdl.handle.net/2324/2230447>

出版情報：九州大学ビジネス・スクール ニューズレター. 25, pp.1-, 2016-10. 九州大学ビジネス・スクール
バージョン：
権利関係：

2016年度交換留学生のQBS来学

QBSでは毎年後学期に短期交換留学生を迎えて半年間共に学んでいます。今年度はQBSでは最多となる13名の交換留学生を、タイ・中国・台湾から受け入れ、9月30日(金)にはオリエンテーション・歓迎会も行われました。後期のQBSの講義は7科目が英語開講科目となり、交換留学生を交えての賑やかなディスカッションが期待されています。交換留学生の皆さんにはQBSでの良き学びとともに、良き友人・良き思い出を作っていただきたいと思います。



フィリピン・AteneoBSがQBSに来学

厳しい暑さが続く7月29日、フィリピンを代表する大学の一つ、アテネオ大学ビジネススクール(AGSB)より、13名の教職員がQBSを訪問されました。AGSBは5



AteneoBSとの記念写真

つの学位プログラムを擁する大規模なビジネススクールであり、QBSと同様にアントレプレナーシップ教育に力を入れていることが特徴です。QBSからは、高田教授、村藤教授、目代准教授、寺崎助教の4名が会合に参加し、今後の連携の可能性について、和やかな雰囲気にも関わらず、熱い議論が展開されました。遠方よりご足労いただいたAGSBの皆様へ、厚くお礼申し上げます。

寺崎 新一郎(ビジネス統計)

QAN便り

この度QAN(QBSアラムナイネットワーク)会長に就任致しました4期生の寺松と申します。

まずは選任頂きました事を感謝申し上げます。顧問である専攻長や教職員の皆様の御支援を頂きながら、理事の皆様と一緒にQAN発展の為に精一杯努力する所存です。

今回は今年度の事業方針を簡単に御説明申し上げたいと思います。総会での言葉を借れば、修了生の興味をQANに取り戻す、やや刺激的な表現ですが、歴代会長や理事の皆様が力を注いで来られましたQAN会員同士の交流を更に活発にする為に、2つの主事業と1つの補助事業に焦点を絞り、言わばインフラを整備する戦略を描いています。

具体的には①QANアワード(仮称)の創設②DBシステム(名称公募中)の供用開始③総務・会計の戦略的な再整備を主な事業に据えています。組織は戦略に従う、を地で行く形で、力丸、吉川、川田の3名の理事を副会長として事業責任者に据え、チームを組み、達成目標を定め、更には次年度の総会日の出席者数を理事会全体の評価基準に致しました。

また外交に関しては、以前より親交のあった九州・アジア経営塾(KAIL)の同窓会組織である碧樹会(田中洋之会長)とのより深い交流を具体的な形で探っていきたく考えています。

詳しい進捗状況に関しては、facebook(QAN公式グループ)やML等に適宜投稿致しておりますので参照頂ければ幸いです。私の役割は上記の軸がぶれぬ様、安定的な理事会運営を図り、成果を出して行くことですが、私共理事会の力だけでは到底なし得ないことも事実です。QAN会員の皆様の御理解と御協力を賜ります様何卒お願い申し上げます。

QAN会長 寺松 一寿(4期生)



理事会会合の様子



碧樹会田中会長(左)と寺松(右)

在校生紹介



寺田 尚平さん(13期生)

所属▶株式会社テクノ・ホールディングス

「将来は、経営者になりたい」いつしかそう考えるようになっていた自分に、「QBSでは、経営に関する多くの事が学べる」と私にQBSを紹介してくれたのは勤務先の先輩でした。

QBSは、優秀な人が集積する素晴らしい舞台です。一流企業のマネジャー、経営者、医師、弁護士、トップセールスマン、優秀な留学生、多種多様な人が所属するQBSでは、経営の知識だけでなく、物の考え方など多くのことを学ばせていただいています。

QBSは、人の人生までも変える力があります。私は、5年3か月勤務した地方銀行を退職し、今年の7月よりかねてから希望していた業界で勤務しています。人生の転機をQBSと出会うことで、経験するとは夢にも思っていませんでした。

現在の勤務先では、IPOに向けた社内体制の調整構築に従事しており、ファイナンス、組織論などQBSでの学びが有用に働く環境で仕事をさせていただいています。

QBS生活も残すところ半年。将来の目標を実現するために、頑張ります。



坪井 祐馬さん(14期生)

所属▶日本ペーリンガーインゲルハイム株式会社

QBSは学生の坪井です。最近よく人に聞くフレーズがあります。「最近した新しいことって何?」

QBSは仕事だけでは感じ取ることのできない様々な「新しいこと」に溢れています。新しい知識を全力で体験しながら習得し、次の日の仕事を少しだけ変えることが出来ます。ビジネススクールだけでなく学部生と終日英語でアントレプレナーを学んだり、医学部生とパイオベンチャーを学んだり、学園祭で焼きそばも焼けるなんて!20代~50代まで尊敬する仲間からも「新しい出会い」を頂けます。

大学を卒業して10年、大学生が与えられている環境の素晴らしさを初めて実感しています。QBSは主体的でさえあれば、何でもチャレンジさせて頂ける環境が揃っています。大学時代の10年前はいかにサボって楽しむか考えていませんでした。QBSの2年間はいかにチャレンジして楽しむかしか考えていません。素晴らしい仲間と一緒に偉大な先輩方に追いつけるよう、日々楽しんでいきます。

●九州大学ビジネス・スクールに関するお問い合わせ
 〒812-8581 福岡市東区箱崎6-19-1
 九州大学貝塚地区事務部教務課学生第四係
 TEL.092-642-4167
 ホームページ http://qbs.kyushu-u.ac.jp/
 facebook.com/QBS.MBA



九州大学ビジネス・スクール
 Kyushu University Business School

編集発行/九州大学ビジネス・スクール
 担当/QBS支援室
 住所/〒812-8581 福岡市東区箱崎6-19-1
 電話/092-642-4278
 メールアドレス/bs@econ.kyushu-u.ac.jp

QBSレクチャー・シリーズ「九州発 新たな事業価値創造」開催!

QBSでは、教員の研究を外部に発信することが設立以来の課題となっており、この度7月に出版した『新たな事業価値の創造』の出版記念を兼ねて、QBSレクチャー・シリーズとして今年度最初となる「九州発 新たな事業価値創造」を開催しました。

7月24日(日)に電気ビル共創館カンファレンスCにて猛暑の最中の日曜日にもかかわらず、70名超の方にご参加いただきました。今回のレクチャー・シリーズでは、QBS高田専攻長より「事業価値の創造とQBSの取り組み」の説明があり、続いて「新たな事業価値の創造」に執筆された内容から、平松教授による「株主にとっての企業価値と新たな価値の創造」、目代准教授による「長期的収益の実現と戦略的柔軟性」の講演がそれぞれ行われました。いずれの講演に対しても、参加者のみなさんより活発な質疑が出されて、関心の深さが現れていました。

QBSでは今後もこのように取り組みの成果を発信する場を設け、九州経済に貢献していきたいと考えています。

星野 裕志(国際経営、国際ロジスティクス)



質問を受ける平松教授

目代准教授

第6回QBSビジネスプラン・コンテスト開催!

2016年9月10日(土)に第6回QBSビジネスプラン・コンテストが九州大学箱崎キャンパス視聴覚ホールにて開催されました。今年は熊本市長の大西一史様をお迎えし、「明日を見据えた復興へ」という題目でご講演いただきました。

「創りたい未来がある」という今年のビジコンのテーマに沿って、「10年後に起きるであろう大きな社会問題をビジネスの力で解決せよ!」という課題でのビジネスプランを、早稲田大学ビジネススクール(WBS)チーム、グロービス経営大学院 大阪校チーム、福岡校 チーム、そしてQBSから2チームの合計5チームで競いました。最優秀賞はQBS14期「チーム小山」。「チーム小山」は今年創設されたQBS・OB会によるQAN賞のダブル受賞となり、100名近い観覧者の会場は大いに盛り上がりました。審査員特別賞はグロービス大阪校チームが受賞しました。講評では、審査委員長である一般社団法人地域企業連合会九州連携機構会長の小早川様より、テーマに対する論議をどれだけやったのか、個人で本気でどれくらい思いを巡らせたか、チームで論議を重ねたか、プレゼンが決まるのだとお話いただき、身の引き締まる思いをいたしました。最後になりましたが、今年もたくさんの企業、個人の方にご協賛いただき、無事に開催を終えることができましたことを心よりお礼申し上げます。



大西一史 熊本市長



最優秀賞を受賞したQBS「チーム小山」

ビジネスプランコンテスト実行委員長 森永 健太郎(13期生)

法人および特別選抜入試説明会

日時:平成28年11月10日(木) 17:00~18:30 会場:JR博多シティ10階 小会議室G+H(福岡市博多区博多駅中央街1-1)
 内容: 変革をリードし新たな事業価値を創造する組織内人材育成の重要性について、修了生による座談会等

参加ご希望の方は、所属団体・法人名、参加者氏名、電話番号、メールアドレスをご記入の上、ビジネス・スクール支援室にE-mailまたはファックスにてお申し込みください。

九州大学ビジネス・スクール支援室 E-mail: qbs@econ.kyushu-u.ac.jp ファックス:092-642-4336

九州大学ビジネス・スクール[MBA課程]
 平成29年4月入学

特別選抜入試

出願期間/2016年12月19日(月)~12月26日(月) 入試試験に関するお問い合わせ先

試験期日/2017年1月29日(日)

募集人員/若干名

選抜方法/書類審査・口頭試問ほか

〒812-8581 福岡市東区箱崎6-19-1 九州大学貝塚地区事務部教務課学生第四係
 TEL▶092-642-4167 E-mail▶kagakusei4@jimu.kyushu-u.ac.jp
 ホームページ▶http://qbs.kyushu-u.ac.jp/ ©HPから募集要項のダウンロードができます

中国・大連 交換留学体験記

留学を振り返って

以前から仕事で中国に行くことがあり、英語だけでなく中国語も使えるようになり、仕事のフィールドを広げたいという思いがありました。また、QBS入学前MBA取得を検討していた際、海外MBAの持つ学生の多様性に魅力を感じていたこともあり、QBS以外の大学でMBAの講義を受けられるという点も交換留学に行く理由の一つでした。

中国への交換留学を通して、英語と中国語の運用能力が向上しましたし、中国での生活を通して、主張することと何か起きて動かない心を手に入れられたように思います。

英語と中国語を使った仕事、法人営業の経験、留学生生活を過ごし、今後はグローバルに活躍の場を広げたいと考えています。

留学をされる方には、留学前・留学中・留学後とそれぞれのフェーズで、何を、どこまで、どのようにして達成するのかを十分に考慮して臨んで欲しいと思います。日本を出て見ず知らずの土地で勉強することで得られるものは、決して少なくないはずで

志賀 孝史(13期生)



私のMBA交換留学@大連理工大学

元々大学時代に留学を計画しましたが叶わず、社会人になりそれがずっと心残りでした。その頃ICABEに参加し海外で活躍したい憧れが再燃、20代最後の挑戦だと決心しました。

留学で得たことは、海外MBAや語学力だけでなく、外国に住み外国人と生活し大きな視点・視野を持たれたことです。留学前と比べ、より物事の本質を考え、より豊かな心を持ち人生とは何か、そのために何をすべきかよく考えるようになりました。

今後は留学の経験を活かし、国や分野を選ばずチャンスがあれば海外のどこでも活動していけるよう準備したいと考えております。先輩方、もし私にご興味ありましたら連絡頂ければ幸いです。

私は本当に充実した生活を送ることができました。共に留学した志賀さんは家族以上にわかり合える生涯の友になりました。留学希望の方にお伝えしたいことは、海外で広く深い人脈を作り、ときに絶体絶命の経験を共に乗り越える、それを経験できるのが留学の醍醐味ではないかということです。

平尾 拓人(13期生)



「BBIQモーニングビジネススクール」は平成28年10月から番組名を「QT PROモーニングビジネススクール」に変更しました。

QBS教員が出演している「BBIQモーニングビジネススクール」は、九州通信ネットワーク株式会社(QTNet)の番組提供開始から11年目を迎えた長寿番組です。この度、平成28年10月1日より「BBIQモーニングビジネススクール」は「QT PROモーニングビジネススクール」に番組名を変更いたしました。QT PROとは、QTNetが提供するBtoBのネットワーク&ソリューションのサービスブランドです。

装いも新たに「QT PROモーニングビジネススクール」では、より良質な番組コンテンツの提供と充実を図り、貴重な朝の学びの時間となるような番組作りを目指して参ります。



ラジオの収録風景

九州大学×みぞえグループ イブニングビジネススクール好評開催中!

ラジオ番組・QT PROモーニングビジネススクールのライブ版である九州大学×みぞえグループ イブニングビジネススクールも今年で4年目を迎えました。

今年も既に8月19日(「ビジネス統計の楽しさ」[寺崎助教]「日米財務比較と日本の将来」[村藤教授])、9月9日(「マーケティングにおけるブランド戦略」[岩下講師]「モチベーション向上のための七つの鍵」[岩崎教授])の2回が開催され、いずれも多くの方にご参加いただいております。今後のイブニングビジネススクールは10月14日、11月11日、12月9日の3回を予定しております。詳細はエフエム福岡のHPまたはQBSのHP・公式Facebookをご覧ください。



寺崎助教



岩崎教授

第26回 ICABE学生プロジェクト

今回のICABEは9月22日から3泊5日の日程で、QBSとしては初めてベトナム・ハノイを訪れました。教員、在学生、修了生合わせて30名の参加者があり、たいへん賑やかな旅となりました。

学生交流ではベトナム国家大学ハノイ校の経済・ビジネス学部を訪問し、両大学のプレゼンテーションに続き、日越間のビジネスをテーマにチームディスカッションを行いました。ベトナム側の参加者は学部生が中心で、多くのQBS生とは年齢が離れていましたが、ベトナムのトップ校だけあってみな優秀で、議論の組み立てや語学力など、非常にしっかりしていることに感心させられました。

また今回は、TOTOと西鉄の現地法人を訪問し、両社ではベトナムでの事業内容に加え、ベトナム人との接し方やビジネス上の習慣など、興味深いお話を伺うことができました。さらに、ベトナムの前香港総領事と面会する機会を得て、ベトナムでのビジネスチャンスについて色々示唆をいただき、参加者の中には、同国での事業展開を具体的に検討するきっかけとなった人もいたようです。

ベトナムは、人々が若く活力があり、しかも非常に真面目なのが印象的でした。訪問した大学の学生も、自分自身やベトナムの未来について熱く語り、日本からもっと学びたい、QBSとの交流を続けていきたいと言ってくれました。私たちにとっても多くの刺激を受けるとともに、アジアのよきパートナーとしてのベトナムを改めて感じることでできた今回の旅でした。

荒木 憲(13期生)



QBS×中国・清華大学の交流イベント

8月1日(月)に博多駅近くのサンライフホテルに於いて、QBSと中国・清華大学12名のMBA学生との交流イベントを開催しました。QBS側の参加者は高田専攻長、村藤教授、寺崎助教と15名の在学生・修了生でした。

高田専攻長からのQBSの紹介に引き続き、清華大学の陳さんから清華大学及びビジネススクールの歴史の紹介が行われました。その後、3つのプレゼンテーションで、QBSと清華大学の学生代表が日中で人気のビジネスピックを取り上げました。

今回の交流会ではQBSの原田さん(14期生)が司会を務め、最初はQBS修了生の増本さん(10期生)より、日本でのドローンコンサルティングビジネスの紹介がありました。続いて清華大学の張さんから「供給側改革と中国旅行業」の発表、最後にQBSの志賀さん(13期生)と平尾さん(13期生)から、中国での交換留學生活で感じた日中文化の違いの報告が行われました。

イベントの最後、清華大学の董さんが今回の九州訪問やQBSとの交流イベントについての感想を発表し、清華大学からはぜひ北京でQBSともう一度交流したいと言っていました。その後参加者の皆さんで名刺交換が行われ、今後の連絡のために、中国で大人気のチャットアプリWechat(ユーザー数5億人以上)でグループも作られるほどでした。

清華大学は中国トップのビジネススクールであり、MBA学生も様々な業種で活躍している優秀なビジネスパーソンが多く、今回の交流は本当に有意義なイベントとなりました。

喬明華(13期生)



修了生紹介



真弓 恭一さん(9期生)
所属▶平田機工株式会社

QBSを修了した次の年、私は所属企業の新規事業として設立された子会社で経営にあたることになりました。

QBSでは様々なテーマについて、書籍や授業で得た知識を活用して自分なりにどう意思決定するかをまとめ、さらに授業でのディスカッションを通して一つの結論に収めさせていきます。MOT(技術経営)やアントレプレナーシップ等幅広いテーマを扱うのもQBSならではの強みです。単に知識を習得するのではなく、組織の中で行う意思決定プロセスを疑似体験するという意味で非常に実践的です。

この体験のおかげで、会社を経営する中、戦略を立てる、リスクを想定する、課題を整理するなど、それらやるべきプロセスが自然と頭に浮かんでいきます。しかし、それでも正しい答えや結果を導き出せるわけではありません。それだけ、実際の経営は様々な要素が複雑に絡み合い、そう簡単にはいきません。

MBAの修了は、これから経営を実践するための準備段階を終え、スタート地点に立ったということ。これからも、更なる経営力の鍛錬を続けていく毎日です。



岩中 浩二さん(12期生)
所属▶参天製薬株式会社

QBSの2年間で今までにない経験を積むことができました。年2回のアジアの提携大学訪問、そして後期における交換留學生と一緒に受ける授業では、留學生のレベルの高さに圧倒されました。国内の営業職しか経験していない私にとっては大変な刺激を受け、世界のビジネスシーンで生き残っていくためには、今のままではダメだと考えさせられました。

一方で成長を実感できる場面にも出会えました。日々の仕事において、徹底的に考え抜く力を養ったことです。QBSが提供してくれるプログラムは多彩であり、新しい知識を手に入れるだけにとどまらず、教授や学生とのディスカッションや多くのケーススタディを通じて、「なぜ?なぜ?」と徹底的に考えさせてくれます。構造的に課題を把握する力が向上し、QBS通学期間中の営業成績では、過去最高の全社上位1%に入る事ができ、QBSでの学びを成果にしっかり結びつけることができました。

そして、この秋からはマーケティング部への異動が決まりました。3年前にQBS入学願書を書き始めた頃には想像できないくらい自分で環境を変える事ができています。現在の自分を作ってくれたQBS教授陣、スタッフ、学友には本当に感謝しています。